

平成25年度 宇都宮市立雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）	
2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）	
3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）	校是 「純情と進取」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

めざす生徒像	めざす教師像	めざす学校像
思いやりのある生徒	愛情と情熱にあふれる教師	学びあえる学校
主体的に学ぶ生徒	みがきあう教師	共に伸びる学校
心身を鍛える生徒	実践力のある教師	地域と共に歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 教育活動のねらいを明確にしておく授業，できる授業の実践と一人ひとりの良さを生かす活動の充実に努める。
2 豊かな心，たくましい体の育成を目指して， <u>基本的な生活習慣</u> ，思いやりの心， <u>体力の向上</u> に努める。
3 生徒にとって夢や希望のもてる学校づくりに努める。
4 家庭や地域社会との連携に努め，信頼される学校，開かれた学校， <u>地域学校園内の連携</u> の実現に努める。
5 教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切にして，専門職としての資質向上に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】	
1 プラス思考で動く教職員	
ア 学年・学校組織を生かした臨機応変な職員協力体制の確立	イ 専門職としての自己研修の推進
ウ 行動規範の意識化と遵守	エ プラスワンの発想での建設的な提案と実践
オ <u>小中一貫教育の推進</u>	
2 家庭・地域とともに歩む学校	
ア 情報の積極的な発信と連携	イ 地域の多様な教育力の活用の推進
ウ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進	エ <u>地域学校園内小・中学校連携の推進</u>
【学 習 指 導】	
1 夢や希望を語る生徒の育成	
ア 自己を見つめ，自己の生き方の確立をめざした進路指導	イ 一人ひとりの良さが発揮できる特別活動の実践
ウ キャリア教育の推進	エ 自己の能力を最大限に発揮できる特別支援教育の推進
2 確かな学力の育成	
ア 生徒の側に立った指導を構想し，展開する	イ 豊かな表現を支える基礎・基本の確実な定着を図る
ウ チームティーチング，少人数指導の充実	エ <u>家庭学習の充実と習慣化</u>
【道徳教育（児童生徒指導）】	
1 豊かな心の育成	
ア 道徳教育に関する指導力向上をめざした研修の実施	イ 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実
ウ SC，MSとの連携を密にした教育相談の充実	エ 人権感覚を育てる啓発活動の充実
オ 人権感覚を練磨する校内研修の推進	カ 生徒の情操を育てる校内環境の充実
2 規範意識の育成	
ア <u>基本的な生活習慣を身につけさせる指導の充実</u>	イ 生徒の良さを認め，尊重し自尊感情を高める指導の実践
ウ <u>いじめ，不登校への予防的対応の充実</u>	
【健康（保険安全・食育）・体力】	
1 たくましい体の育成	
ア <u>自ら意欲的に運動に取組み，体力向上を図る指導の充実</u>	イ 発達段階に応じた保健教育・性教育の充実
ウ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣の育成	エ インフルエンザ予防と健康管理能力の育成

5 自己評価

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」</p> <p>⇒生徒の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 豊かな心をはぐくむための読書活動の実施（朝の読書、学校図書館の効果的な環境づくり等）</p> <p>② 生徒の主体的活動の推進（生徒会活動、部活動、学校行事）</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 92.7% 保護者の肯定的回答 93.5%で、数値目標を上回った。また昨年度の数値よりもさらに上昇している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>道徳教育や情操教育の充実を図り、特別活動において実践力の伸長に努める。</p>
	<p>2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」</p> <p>⇒生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生徒の良さを認め、尊重し、自尊感情を高める指導の実践</p> <p>② 行動規範の意識化と遵守</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 94.0% 保護者の肯定的回答 86.1%で、数値目標を上回ったが、保護者の肯定的回答は、昨年より約 4%下回った。自由記述から、生徒の学力向上を強く願う保護者が増えてきている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>各教科で学力向上策を検討し、基礎・基本の確実な定着を図っていく。</p>
	<p>3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」</p> <p>⇒生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 1 学級担当 2 人制による給食指導の実施</p> <p>② いじめ、問題行動の未然防止と早期発見・早期対応</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 86.3% 保護者の肯定的回答 93.6%で、数値目標を上回った。保護者の肯定的回答は、昨年より 8% 近く上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教職員の協力体制を維持しながら、基本的生活習慣の指導を充実させ、事故やトラブルに対する組織的対応を徹底していく。</p>
	<p>4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」</p> <p>⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 豊かな表現力を支える基礎基本の確実な定着（漢字・計算・英単語力の向上）</p> <p>② T T や習熟度別学習による個に応じた指導の充実</p> <p>③ ○家庭学習ノートの活用と確認</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 88.9% で数値目標を上回ったが、保護者の肯定的回答は、74.7%で数値目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>指導のねらいの明確化と授業展開の工夫をするとともに、一人ひとりの理解度に応じた指導を充実させる。</p>

教育活動の状況	5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 80%以上	① 教育課程表にもとづく授業時数の確保	B	【達成状況】 学校アンケート 教職員の肯定的回答 95.6% 保護者の肯定的回答 96.6%で、数値目標を上回っており、適切に実施されていると考えられる。 【次年度の方針】 行事の精選や時間割の変更などにより、授業時数の確保に継続して努める。
	6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信、提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 情報の積極的な発信と連携 ② 学校だより、学年・学級だより等の定期的な発行による本校の教育活動の啓発 ③ 土曜授業や学校公開の実施 ④ 学校ホームページの充実	B	【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 92.9%、地域住民の肯定的回答 100%で数値目標を上回った。適切に実施されていると考えられる。 【次年度の方針】 継続して情報発信に努めるとともに、土曜授業や学校公開で本校の特色ある取り組みを紹介していく。
	7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① P T Aによる防犯活動の実施（下校指導、夜間巡回指導） ② 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進 ③ 学校支援ボランティアの活用	B	【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 88.3%、地域住民の肯定的回答 96.7%で、数値目標を上回った。 【次年度の方針】 小中一貫教育との絡みから、地域学校園の連携・協力をさらに充実していく。また、学校支援ボランティアを積極的に活用しながら、教育活動のさらなる充実に努める。
	8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 美化週間や委員会活動の充実 ② P T A環境部との連携を図った緑化活動の推進 ③ 施設・設備の点検と迅速な補修	A	【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 94.1%で数値目標を上回った。 【次年度の方針】 迅速な点検・整備を心掛けるとともに、生徒会を中心とする校舎内外の環境美化を推進していく。（中庭の緑化推進）
	9 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上	① ○あいさつ運動の実施と強化期間の設定 ② ○地区内小学校と連携した朝の登校指導の実施（あいさつ、声かけ）	B	【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 95.3%、保護者の肯定的回答 87.3%、教職員の肯定的回答 97.8%で、地域住民の肯定的回答 97.0%で、数値目標を上回った。 【次年度の方針】 教員側から積極的な声かけを行うことにより、授業や部活動、朝や帰りの会など日常生活における自然な挨拶を充実させていく。

<p>10 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」</p> <p>⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 時と場に応じた言葉づかいができるよう、日頃から授業や行事等の場面を生かした指導の充実</p>	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 保護者の肯定的回答 83.8%で数値目標を上回ったが、地域住民の肯定的回答は 75.8%で、数値目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>家庭や地域においても身近な人に対して感謝の気持ちをもって接することができるような、礼儀やマナー、道徳教育の充実に努める。</p>
<p>11 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」</p> <p>⇒教職員・生徒の肯定的回答 80%以上</p> <p>12 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、自分は好き嫌いなく給食を食べている」「自分の子供は、好き嫌いなく食事をしている」</p> <p>⇒生徒・教職員・保護者の肯定的回答各 80%以上</p> <p>15 生徒は食後の歯みがきをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、給食後の歯みがきを必ずしている」</p> <p>⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昼休みの外遊びや運動部活動における積極的な取り組みの推進</p> <p>② 宇都宮元気っ子プロジェクトの推進</p> <p>① ○給食だより、お弁当の日や保護者会による保護者への啓発</p> <p>② ○栄養士、養護教諭が参画する食の指導の充実</p> <p>① 給食後の歯みがきタイムの充実</p>	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 79.9%で数値目標を若干下回ったが、教職員の肯定的回答は 93.3%で、数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>保健体育科や部活動顧問を通して、季節や時期に応じた効果的な運動を推奨することにより、積極的に運動しようとする意欲を高めていく。</p> <p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 82.1% 教職員の肯定的回答 65.9%、保護者の肯定的回答 72.3%で、教職員と保護者の数値目標が下回った。生徒の偏食がみられる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>担任と栄養士、養護教諭の連携を図った食の指導の充実に継続して推進していく。また、給食だより・保健だより等で保護者への啓発を計画的に実施していく。偏食のひどい生徒については担任と連絡を取り、個別指導をしていく。</p> <p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 75.3%で数値目標を下回ったが、昨年度より約 9 ポイントアップしている。歯磨きタイムの効果が表れている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>保健体育委員会を中心に積極的な P R 活動を継続することで、歯磨きタイムの充実に図る。</p>
<p>13 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」「生徒は、進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」</p> <p>⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① 生徒の側に立った授業の構想と展開（ねらいの明確化、授業展開の工夫、授業改善につながる評価）</p>	<p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 86.0% 教職員の肯定的回答 75.6%で、教職員の数値目標が下回った。昨年度よりは約 6 ポイントアップしているが、課題の提出状況等からみると、やや自主性に欠ける。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>生徒主体の授業展開に努めるとともに、表現力育成のための指導の工夫を各教科で検討・実践していく。課題等の提出については、期限内に確実に提出できるよう習慣化を図っていく。</p>

	<p>14 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p> <p>16 家庭学習の習慣化をめざす。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「毎日家庭学習に取り組んでいる」⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業中での取り組み方のきまりや課題の与え方の工夫・改善を図ることによる、落ち着いた授業の実践</p> <p>① 基礎学力向上を目指した、家庭学習の習慣化</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 教職員の肯定的回答 91.1%、保護者の肯定的回答 86.9%で、数値目標を上回ったが、生徒の肯定的回答は 75.6%で目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>チャイム着席や授業の始め・終わりのあいさつ、話を聞く姿勢など基本的な学習態度について継続して指導していく。</p>
			<p>A</p> <p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 91.4%で、数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>家庭学習ノートの内容充実をめざし、能力に応じた目標設定と実施計画の立て方などについて個別支援を充実させる。</p>
本校の特色・課題等	<p>17 学校行事を通して、感動できる集団・学校づくりをめざす。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「雀中ソーランや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 全校生徒による雀中ソーランや合唱コンクールへの取り組み</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>学校アンケート 生徒の肯定的回答 97.8%で数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>本校の伝統行事として、継続指導するとともに、学校行事だけでなく、地域の行事にも積極的に参加することで、地域の一員としての自覚を持たせていく。</p>

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

17の指標のうち、数値目標を達成できなかったのは8項目であり、内訳は学習に関する項目が4、食と歯磨き、言葉づかいや運動に関する項目がそれぞれ1となっている。特に学習と食に関する項目については、地域学校園で共通する課題である。学習に関しては各種調査の結果から、各教科における基礎・基本の定着が急務である。教科指導の充実をはじめ、放課後等の個に応じた学習支援や家庭学習の方法改善など、組織的に検討していく必要がある。歯磨きについては、歯磨きタイムの実施が効果をあげているので、継続して推進していきたい。

全体としては、活気と落ち着きのある学校生活が送れており、部活動への取り組みも良好である。学校生活全般を通して知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成をめざし、諸活動の充実をより一層進めていきたい。

6 学校関係者評価

- ・地域学校園としての活動の拡大が見られたことは、進歩である。(地域清掃やあいさつ運動など)
- ・地域でのあいさつの様子を見ると、知っている相手にはあいさつするが、知らない人にはあいさつをしない傾向が強い。子供たちが心を開いてあいさつできるよう、まずは地域の住民から声掛けを積極的にしていきたい。
- ・先生方は忙しく、個別に対応できる時間的余裕が少ないと思うが、学力向上にはぜひ努力していただきたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○地域学校園としての取り組みについては、無理のない範囲で充実を図る。その際、学校支援ボランティアの積極的活用も検討していく。

・携帯電話がらみのトラブルが増えている中、情報教育の充実とともに、相手を思いやる豊かな心の育成について、教科・領域等で方法や内容を検討し、実践する。

○基礎学力の向上について、基本的な学習習慣の定着など地域学校園で連携を図りながら推進を強化していく。